第50回日本薬剤師会学術大会　分科会9

これだけは押さえてほしい メディナビの情報

独立行政法人医薬品医療機器総合機構
安全第一部リスクコミュニケーション推進課
岡本　麻依

第50回日本薬剤師会学術大会
利益相反の開示

演者名：　岡本　麻依

私は今回の演題に関連して、
開示すべき利益相反はありません。

- 本発表は演者の個人的見解です
- 所属する組織の公式な見解ではありません

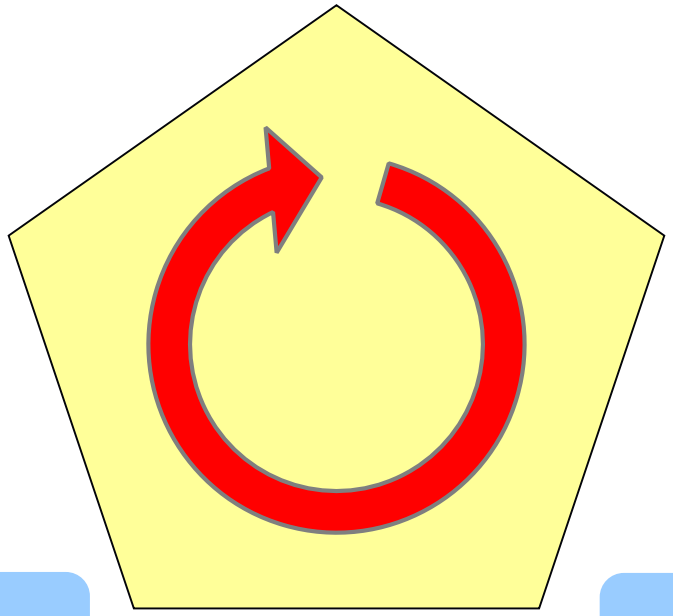
安全対策のサイクル

副作用等の発生

副作用等の発見

リスクコミュニケーション推進課

情報提供



情報収集

対応措置決定

データ分析

本日お話ししたいこと

- なぜ薬剤師は
  情報を収集・活用しなくてはいけないの？
- どの情報だけは押さえておかなくてはいけないの？
- どうやって情報を管理したら良いの？

本日お話ししたいこと

- なぜ薬剤師は
  情報を収集・活用しなくてはいけないの？
- どの情報だけは押さえておかなくてはいけないの？
- どうやって情報を管理したら良いの？

PMDAからの情報提供

□■ PMDA メディナビ ■□

回収情報クラスⅡ(医薬品)発出のお知らせ （2017/07/04 配信）

■回収対象
販売名　　：ファモチジン D 錠 20mg「日医工」
一般的名称：ファモチジン口腔内崩壊錠
製造販売業者の名称：日医工株式会社
http://www.info.pmda.go.jp/rgo/MainServlet?recallno=2-7538

■過去の「回収情報(医薬品)」はこちらから
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/recall-info/0002.html
■2017 年度「回収情報クラスⅡ(医薬品)」掲載分はこちらから
http://www.info.pmda.go.jp/kaisyuu/rcidx17-2m.html

==========
PMDA(医薬品医療機器総合機構) 安全第一部 リスクコミュニケーション推進課
・医薬品医療機器総合機構ホームページ
http://www.pmda.go.jp
・本サービスの登録内容の変更、削除方法等に関する情報
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0001.html
==========

PMDAホームページ
https://www.pmda.go.jp/

PMDAメディナビ

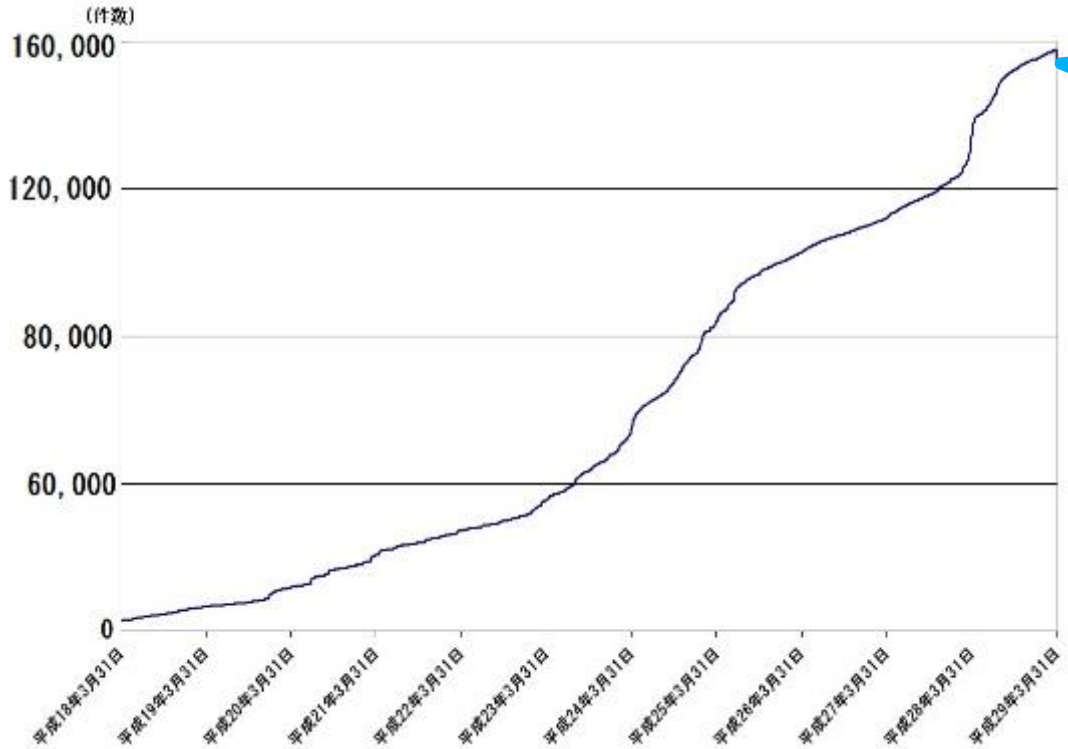
- 医療関係者等が、速やかに最新の医薬品・医療機器の安全性情報等を入手できるようにすることを目的

- 職能団体や学会等が安全性情報入手の手段として登録を推奨

- 2016年3月　診療報酬改定
  →PMDAメディナビへの登録が調剤報酬の基準調剤加算の算定要件となった

重要な安全性情報を
迅速に情報収集するための必須ツール

PMDAメディナビの登録件数



平成29年3月末現在
153,596件

所属が薬局である
登録件数

2014年3月末:
約3万件

2017年3月末:
約5.5万件

1.8倍！！

診療報酬改定前に比べて、薬局の方の登録が伸びています！

2017.3.21配信のメディナビ

□■ PMDA メディナビ ■□

医薬品の安全対策関連通知・PMDA からの適正使用注意 （2017/03/21 配信）

■催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬について、本日付で使用上の注意の改訂が指示され、下記の通知も発出されております。

（平成 29 年 3 月 21 日付　薬生安発 0321 第 2,3 号）
催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬の「使用上の注意」改訂の周知について（依頼）
http://www.pmda.go.jp/files/000217230.pdf

■これを受けて、ベンゾジアゼピン受容体作動薬を催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合について、
下記の「PMDA からの医薬品適正使用のお願い」が発出されています。
服用中の患者に対しては、自己判断で服薬を中止したり減量したりせず、医師又は薬剤師に相談するよう指導してく

ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存性について
http://www.pmda.go.jp/files/000217046.pdf

■ベンゾジアゼピン受容体作動薬には、承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに身体依存が形成されることで、
減量や中止時に様々な離脱症状があらわれる特徴があります。
医療関係者の皆様におかれましては、催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合は、以下の点にご注意ください。
・漫然とした継続投与による長期使用を避けてください
・用量を遵守し、類似薬の重複処方がないことを確認してください
・投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に減薬・中止を行ってください

＜参考＞使用上の注意の改訂指示　平成 29 年 3 月 21
https://www.pmda.go.jp/safety/info-

今までに掲載された「PMDA からの医
http://www.pmda.go.jp/safety/info-
今までに掲載された「安全対策に関
http://www.pmda.go.jp/safety/info-

みなさん見覚えはありますか・・・？

2017.3.21配信のメディナビ

□■ PMDA メディナビ ■□

医薬品の安全対策関連通知・PMDA からの適正使用注意 （2017/03/21 配信）

■催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬について、本日付で使用上の注意の改訂が指示され、下記の通知も発出されております。

（平成 29 年 3 月 21 日付　薬生安発 0321 第 2,3 号）
催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬の「使用上の注意の改訂の周知について（依頼）
http://www.pmda.go.jp/files/000217230.pdf

■これを受けて、ベンゾジアゼピン受容体作動薬を催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合について、
下記の「PMDA からの医薬品適正使用のお願い」が発出されています。
服用中の患者に対しては、自己判断で服薬を中止したり減量したりせず、医師又は薬剤師に相談するよう指導してく
ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存について
http://www.pmda.go.jp/files/000217046.pdf

■ベンゾジアゼピン受容体作動薬には、承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに身体依存が形成されることで、
減量や中止時に様々な離脱症状があらわれる特徴があります。
医療関係者の皆様におかれましては、催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合は、以下の点にご注意ください。
・漫然とした継続投与による長期使用を避けてください
・用量を遵守し、類似薬の重複処方がないことを確認してください
・投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に減薬・中止を行ってください

＜参考＞使用上の注意の改訂指示　平成 29 年 3 月 21
https://www.pmda.go.jp/safety/info-

今までに掲載された「PMDA からの医
http://www.pmda.go.jp/safety/info-
今までに掲載された「安全対策に関
http://www.pmda.go.jp/safety/info-

情報を受け取り、
日常業務で活用いただくことが大切です！

みなさん見覚えはありますか・・・？

なぜ薬剤師は情報収集する必要があるのか

医薬品医療機器法　第68条の2（情報の提供等）

医薬関係者は、医薬品の適正使用のために・・・

- ✓ 企業等が行う**情報収集に協力**するよう努めなければならない
- ✓ 企業等から提供される**情報の活用**に努めなければならない
- ✓ 必要な**情報の収集、検討、利用を行う**よう努めなければならない

薬剤師法　第25条の2（情報の提供及び指導）

薬剤師は、調剤した薬剤の適正な使用のため・・・

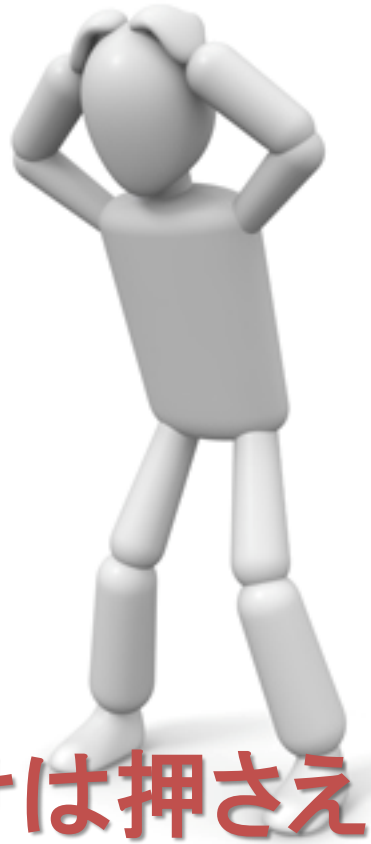
- ✓ **必要な情報を提供**し、及び**必要な薬学的知見に基づく指導**を行わなければならない

薬剤師の責務を果たすためには、
情報収集・活用することが必要です

薬局では

病院のような
DI室もない?!

患者さん
からの質問や
説明すべき事
は十人十色?!



取り扱う
可能性のある
医薬品は
無限大?!

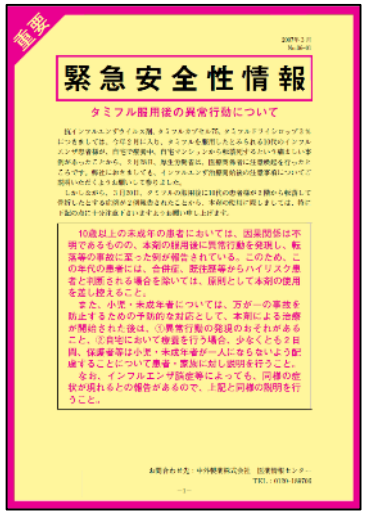
メールは沢山!!
なのに
時間はない?!

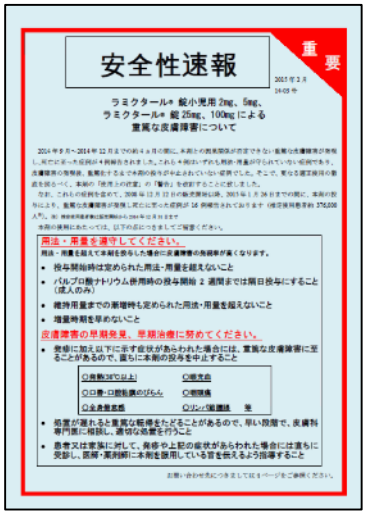
これだけは押さえて欲しい
メディナビの情報をお話しします！

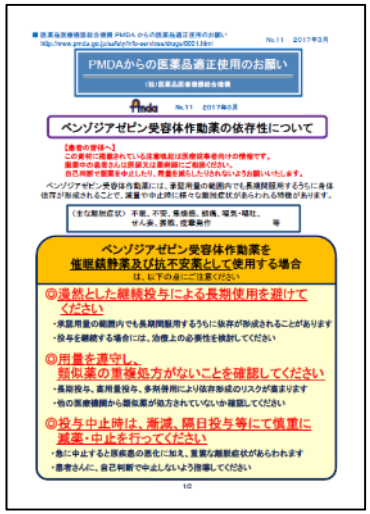
本日お話ししたいこと

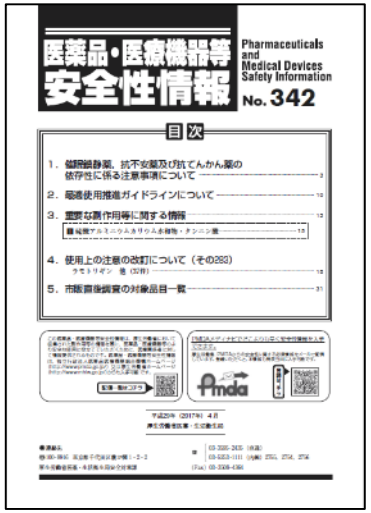
- なぜ薬剤師は
  情報を収集・活用しなくてはいけないの？
- どの情報だけは押さえておかなくてはいけないの？
- どうやって情報を管理したら良いの？

メディナビで配信されている情報





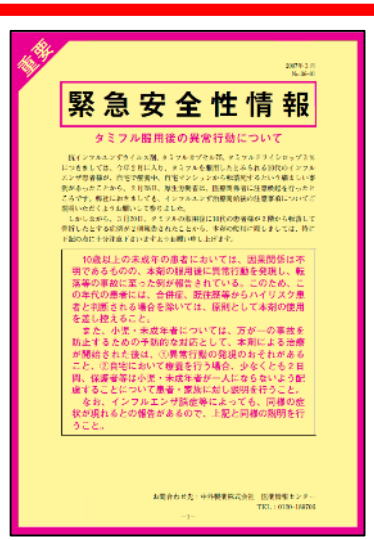


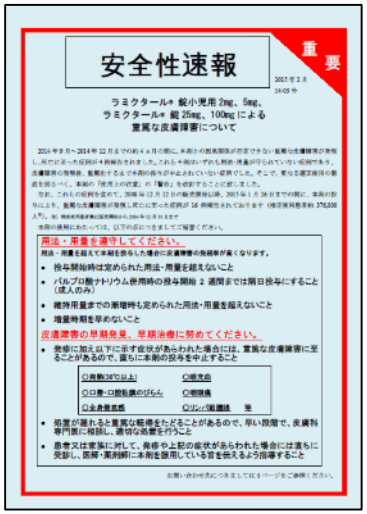


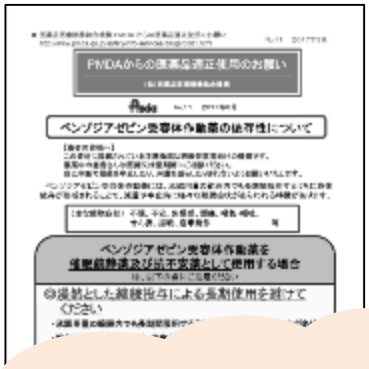
- 回収情報（クラスI,II）
- 医薬品医療機器等関連通知
- 厚生労働省発表資料
- 承認情報
- 副作用救済給付の決定のお知らせ

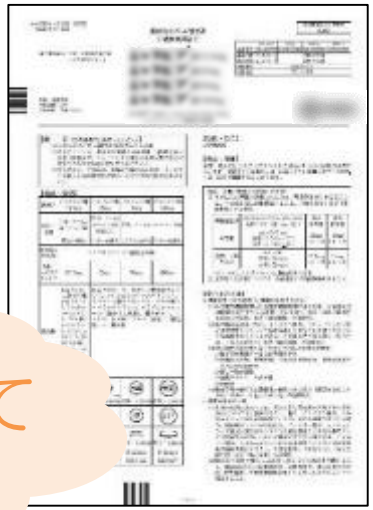
etc,

これだけは押さえて欲しい情報①





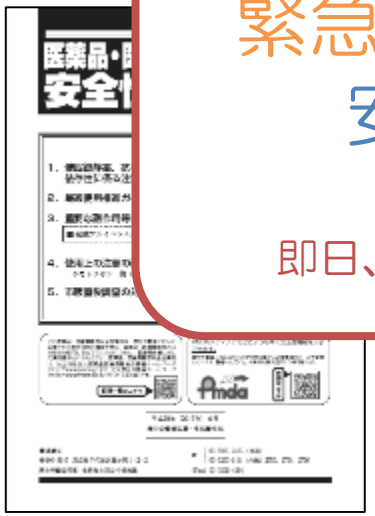




これだけは押さえて
欲しい情報①

緊急安全性情報（イエローレター）
安全性速報（ブルーレター）

即日、メディナビ配信＆ホームページ掲載をしています！



報（クラスI,II）
医療機器等
関連通知
動省発表資料
報
副作用救済給付の
決定のお知らせ
etc,

これだけは押さえて欲しい理由①

■ 最も緊急度が高い情報

→すぐに処方医との連携、患者さんへの注意喚起が必要な場合も！

緊急安全性情報とは・・・

緊急かつ重大な注意喚起や使用制限に関する対策が必要な状況にある場合に、安全対策上の措置を実施するにあたって発出。

（製造販売業者が作成）

安全性速報とは・・・

緊急安全性情報に準じ、**一般的な使用上の注意の改訂情報よりも迅速な注意喚起や適正使用のための対応**(注意の周知及び対応・臨床検査の実施等)の注意喚起が必要な場合に発出。

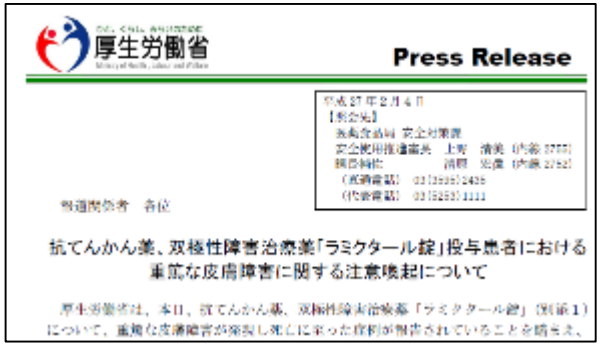
（製造販売業者が作成）

■ 一般の方にも伝わる情報

厚生労働省から

緊急かつ重要な案件のため、

報道発表


厚生労働省
Press Release

報道関係者　各位

抗てんかん薬、双極性障害治療薬「ラミクタール錠」投与患者における重篤な皮膚障害に関する注意喚起について

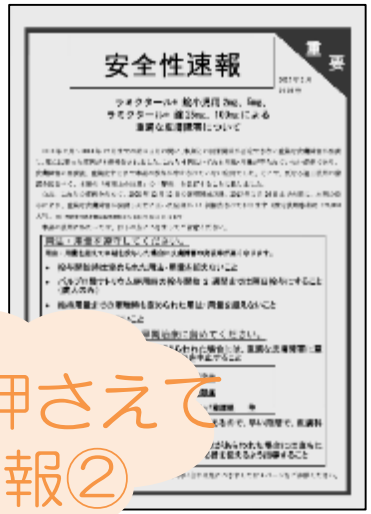
厚生労働省は、本日、抗てんかん薬、双極性障害治療薬「ラミクタール錠」（別添1）について、重篤な皮膚障害が発現し死亡に至った症例が報告されていることを踏まえ、

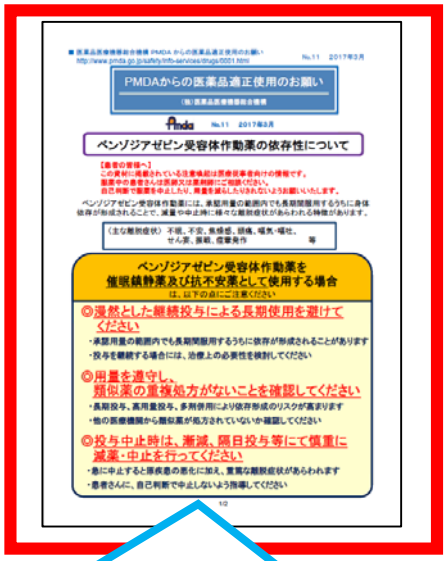
マスコミ からも情報発信

患者さんにも情報が届く

→薬剤師はもちろん知っていないといけない情報！

これだけは押さえて欲しい情報②

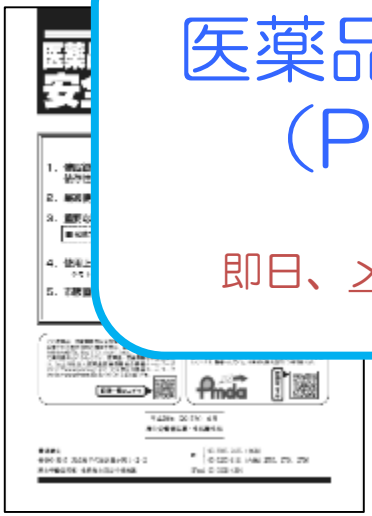


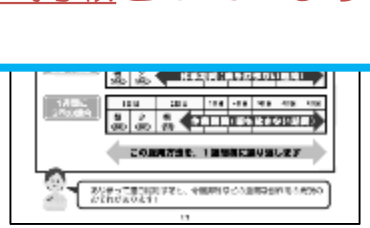


これだけは押さえて
欲しい情報②

医薬品の適正使用に関するお知らせ
（PMDAから＆製薬企業から）

即日、メディナビ配信＆ホームページ掲載をしています！





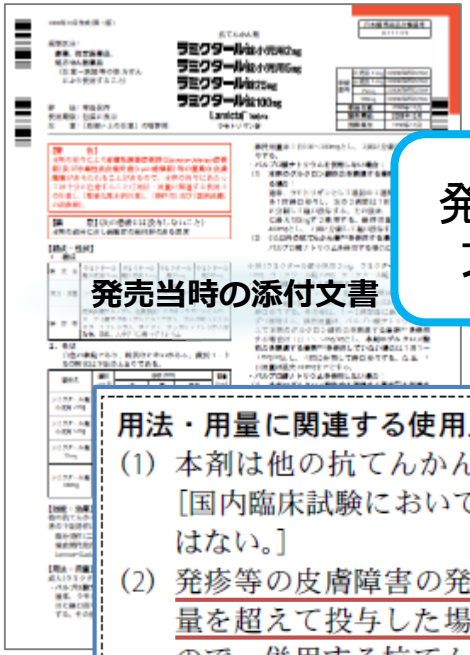
情報（クラスI,II）
薬品医療機器等
関連通知
労働省発表資料
情報
作用救済給付の
決定のお知らせ
etc,

これだけは押さえて欲しい理由②

- これまでに添付文書等で注意喚起されているにもかかわらず、救済給付申請症例や副作用報告症例等で同様の事象が繰り返し見られている事例

→<u>同じリスクを繰り返さないよう各薬局で対応することが大切</u>

ラミクタール錠の場合



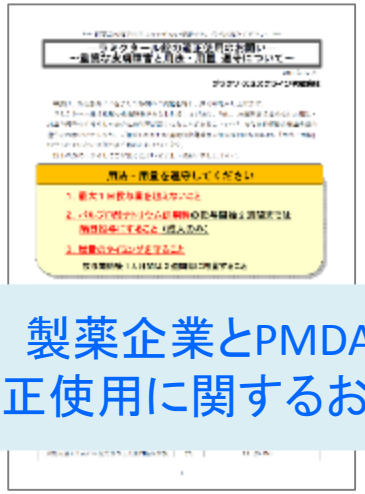
発売当初から添付文書で注意喚起

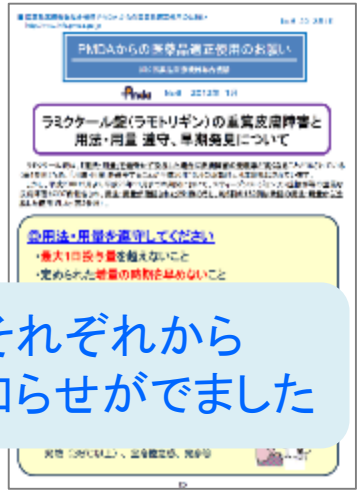
用法・用量に関連する使用上の注意

(1) 本剤は他の抗てんかん薬と併用して使用すること。[国内臨床試験において、本剤単独投与での使用経験はない。]

(2) 発疹等の皮膚障害の発現率は、定められた用法・用量を超えて投与した場合に高いことが示されているので、併用する抗てんかん薬の組み合わせに留意して、「用法・用量」を遵守すること。なお、体重換算等により調節した用量に一致する錠剤の組み合わせが

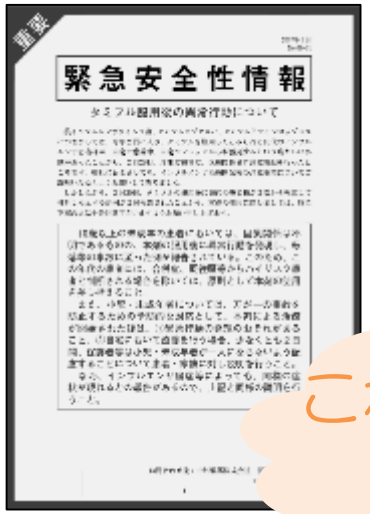
救済給付申請症例にて繰り返し同じ事象が見られた！

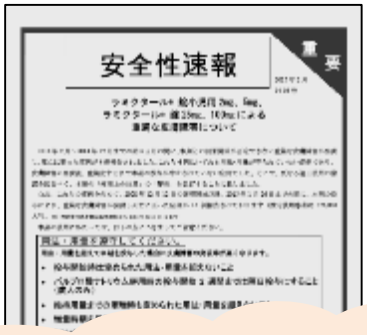


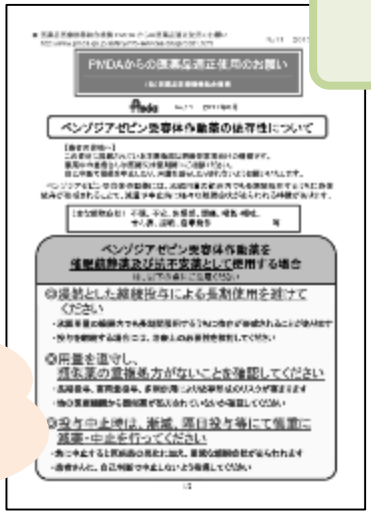


製薬企業とPMDAそれぞれから適正使用に関するお知らせがでました

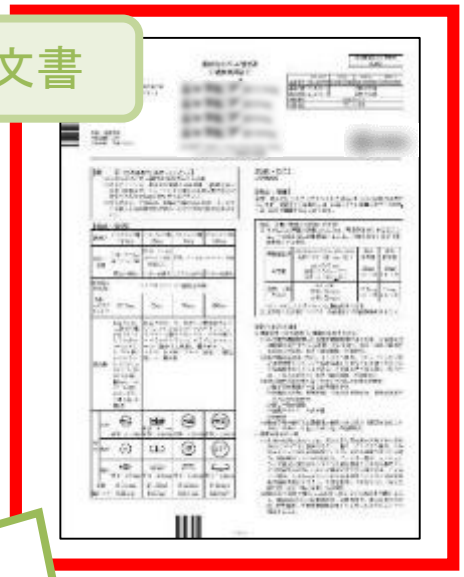
これだけは押さえて欲しい情報③







添付文書



これだけは押さえて
欲しい情報③

使用上の注意の改訂指示通知

即日、メディナビ配信＆ホームページ掲載をしています！

ラスI,II）
機器等
関連通知

- 厚生労働省発表資料
- 承認情報
- 副作用救済給付の
  決定のお知らせ

etc,

これだけは押さえて欲しい理由③

■ 添付文書は医薬品の最も基本的な情報源

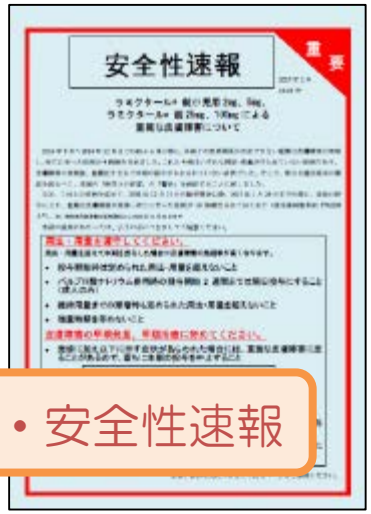
「医療用医薬品の投与を受ける患者の安全を確保し，適正使用を図るために必要な情報を医師，歯科医師および薬剤師などの医療関係者に提供する目的で，医薬品の製造販売業者が薬事法に基づいて作成し医薬品に添付する文書」であり，医薬品医療機器等法第52~54条に定められた公的文書。

■ 添付文書は常に変化する

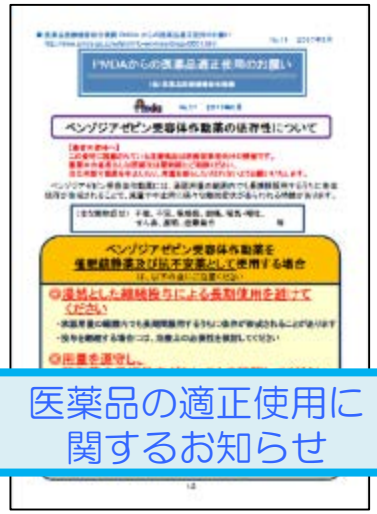
添付文書の改訂のうち、
厚生労働省からの改訂指示による改訂は年間100～200件。

適正使用のためには、
改訂情報をキャッチし、最新の添付文書情報を確認することが必要

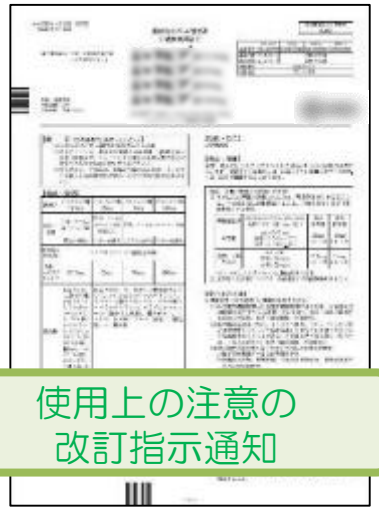
押さえて欲しいこれらの情報は・・・



緊急安全性情報・安全性速報

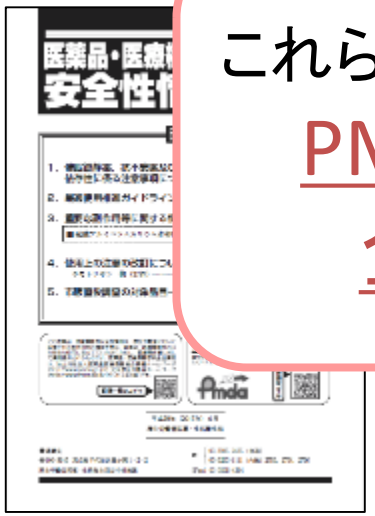


医薬品の適正使用に
関するお知らせ



使用上の注意の
改訂指示通知

これらの情報は、選択している配信項目に関わらず、
PMDAメディナビを登録している方、
全員に配信している情報です！！



ラスI,II)
器等
関連通知
長資料

付の
決定のお知らせ
etc,

2017.3.21配信のメディナビ

□■ PMDA メディナビ ■□

医薬品の安全対策関連通知・PMDA からの適正使用注意 （2017/03/21 配信）

■催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬について、本日付で使用上の注意の改訂が指示され、下記の通知も発出されております。

（平成 29 年 3 月 21 日付　薬生安発 0321 第 2,3 号）
催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬の「使用上の注意」改訂の周知について（依頼）
http://www.pmda.go.jp/files/000217230.pdf

■これを受けて、ベンゾジアゼピン受容体作動薬を催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する
下記の「PMDA からの医薬品適正使用のお願い」が発出されています。
服用中の患者に対しては、自己判断で服薬を中止したり減量したりせず、医
に相談するよう指導してください。

ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存性について
http://www.pmda.go.jp/files/000217046.pdf

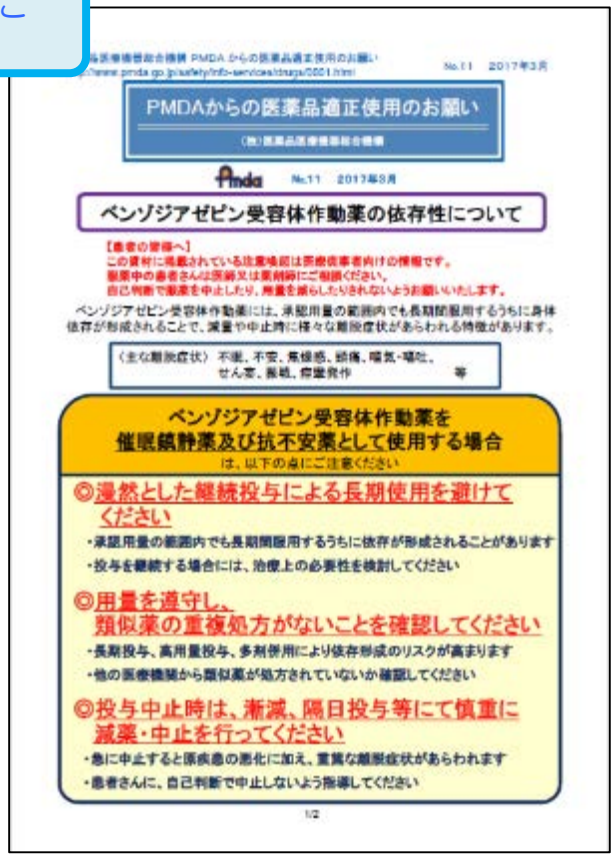
■ベンゾジアゼピン受容体作動薬には、承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに身体依存が形成されることで、減量や中止時に様々な離脱症状があらわれる特徴があります。
医療関係者の皆様におかれましては、催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合は、以下の点にご注意ください。
・漫然とした継続投与による長期使用を避けてください
・用量を遵守し、類似薬の重複処方がないことを確認してください
・投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に減薬・中止を行ってください

＜参考＞使用上の注意の改訂指示　平成 29 年 3 月 21 日指示分
https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/revision-of-

---

今までに掲載された「PMDA からの医薬品適正使用のお願い」は
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-atte
今までに掲載された「安全対策に関する通知等(医薬品)」はこちら
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0010.html

医薬品の適正使用に
関するお知らせ


PMDAからの医薬品適正使用のお願い

No.11　2017年3月

ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存性について

【患者の皆様へ】
この資材に掲載されている注意喚起は医療従事者向けの情報です。
服薬中の患者さんは医師又は薬剤師にご相談ください。
自己判断で服薬を中止したり、用量を減らしたりされないようお願いいたします。

ベンゾジアゼピン受容体作動薬には、承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに身体依存が形成されることで、減量や中止時に様々な離脱症状があらわれる特徴があります。

（主な離脱症状）不眠、不安、焦燥感、頭痛、嘔気・嘔吐、せん妄、振戦、痙攣発作　等

ベンゾジアゼピン受容体作動薬を
催眠鎮静薬及び抗不安薬として使用する場合
は、以下の点にご注意ください

◎漫然とした継続投与による長期使用を避けてください
・承認用量の範囲内でも長期間服用するうちに依存が形成されることがあります
・投与を継続する場合には、治療上の必要性を検討してください

◎用量を遵守し、類似薬の重複処方がないことを確認してください
・長期投与、高用量投与、多剤併用により依存形成のリスクが高まります
・他の医療機関から類似薬が処方されていないか確認してください

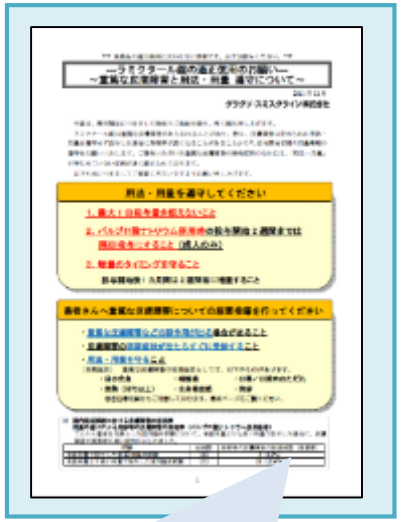
◎投与中止時は、漸減、隔日投与等にて慎重に減薬・中止を行ってください
・急に中止すると原疾患の悪化に加え、重篤な離脱症状があらわれます
・患者さんに、自己判断で中止しないよう指導してください

1/2

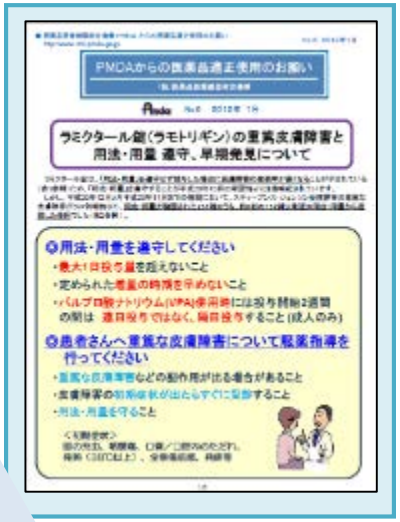
みなさん見覚えがありますか・・・？

H27年度調査の結果

H27.2　ブルーレターが発出されたラミクタール錠
ブルーレター発出前には適正使用のお願いが2回出ていました



H23.12　製薬企業からの適正使用のお願い
H24.1　PMDAからの適正使用のお願い



約半数の薬局で
情報が入手
されていなかった･･･

適正使用情報を
「知っていた」45.0%
「知らなかった」42.6%

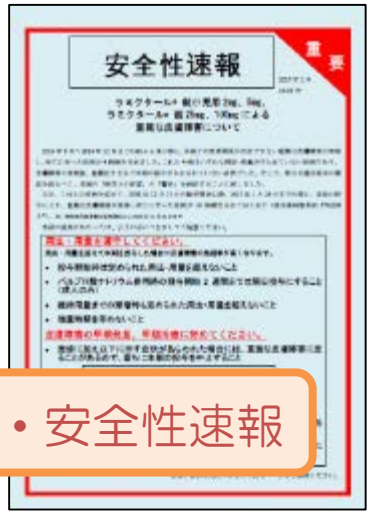
適正使用情報を
「知っていた」45.0%
「知らなかった」42.7%

※対象：全施設

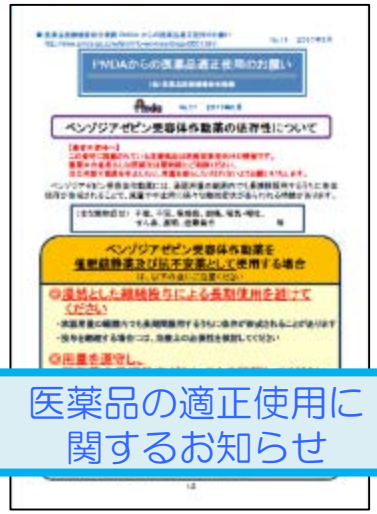
製薬企業やPMDAからの
「適正使用のお願い」は重要な情報!!
適切に情報入手してください!!

平成27年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査　より

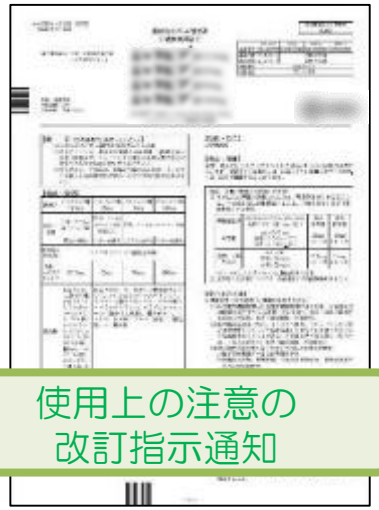
これだけは押さえて欲しい情報（メディナビ配信例）



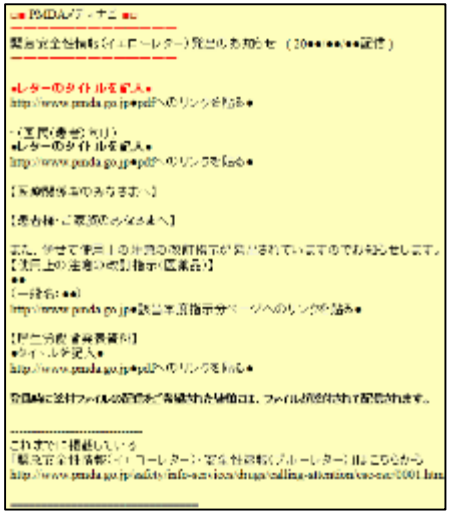
緊急安全性情報・安全性速報

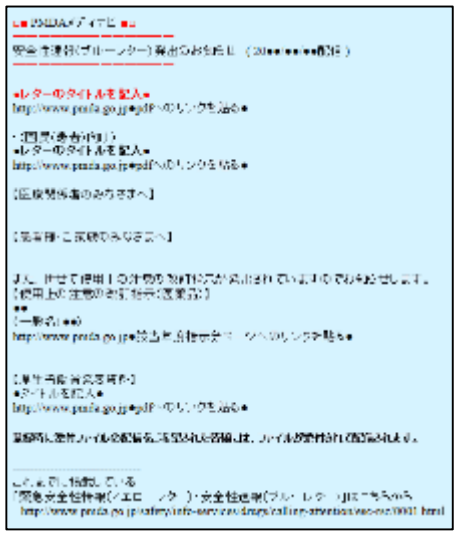


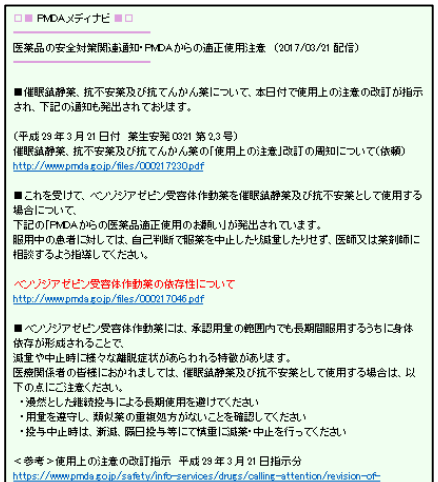
医薬品の適正使用に関するお知らせ

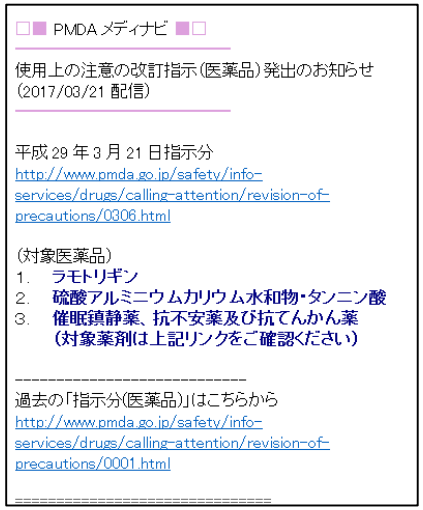


使用上の注意の改訂指示通知

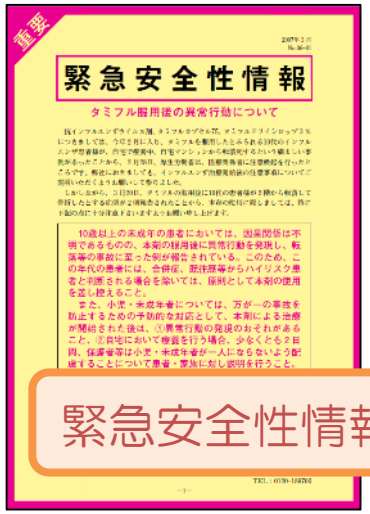


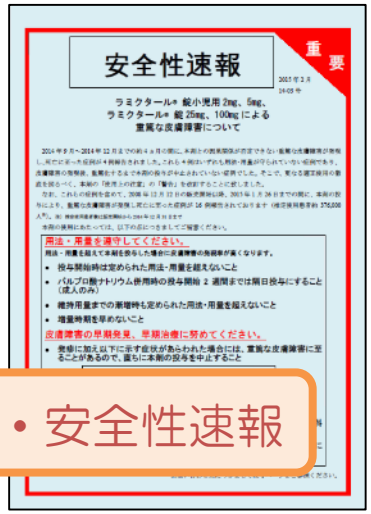




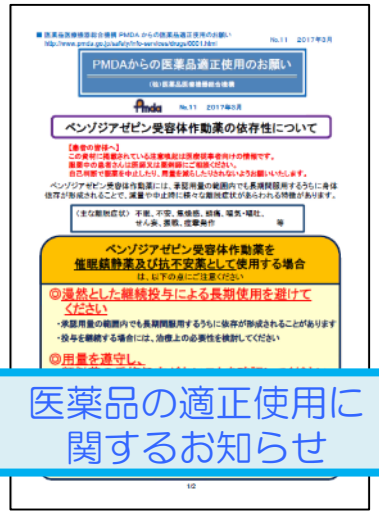


これだけは押さえて欲しい情報（メディナビ配信例）

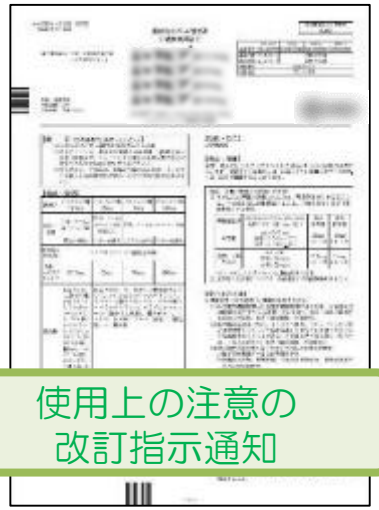




緊急安全性情報・安全性速報



医薬品の適正使用に
関するお知らせ



使用上の注意の
改訂指示通知

メールタイトルに【重要】

【PMDAメディナビ】
【重要】医薬品の安全対策関連通知・適正使用注意（ベンゾジアゼピン受容体作…
□■ PMDAメディナビ ■□ ―――― 医薬品の安全対策関

【PMDAメディナビ】
使用上の注意の改訂指示（医薬品）発出のお知らせ
□■ PMDAメディナビ ■□ ―――― 使用上の注意の改訂

【PMDAメディナビ】
ヒヤリ・ハット事例等に関する調査結果　掲載のお知らせ

□■ PMDA メディナビ ■□

使用上の注意の改訂指示(医薬品)発出のお知らせ
(2017/03/21 配信)

平成 29 年 3 月 21 日指示分
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/revision-of-precautions/0306.html

(対象医薬品)
1. ラモトリギン
2. 硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸
3. 催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬
(対象薬剤は上記リンクをご確認ください)

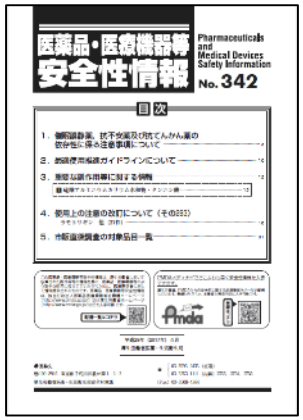
過去の「指示分(医薬品)」はこちらから
http://www.pmda.go.jp/safety/info-…ention/revision-of-

メール整理の参考に！

これだけは押さえて欲しい情報（詳細情報）

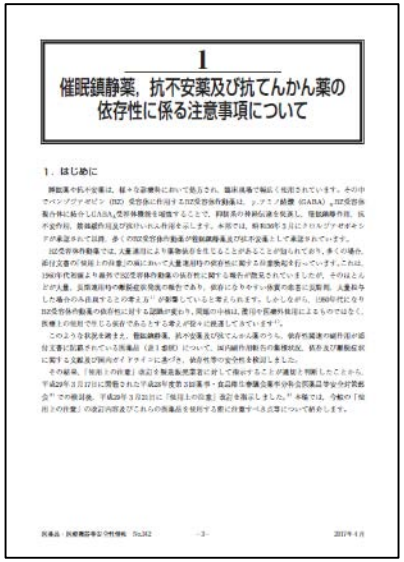
医薬品・医療機器等安全性情報
（約1~2ヶ月後発行）

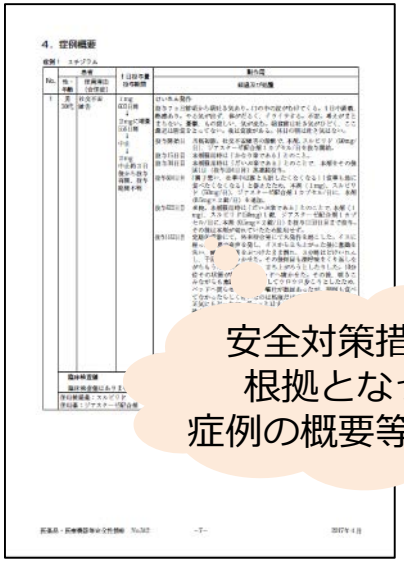
DSU（約1ヶ月後発行）



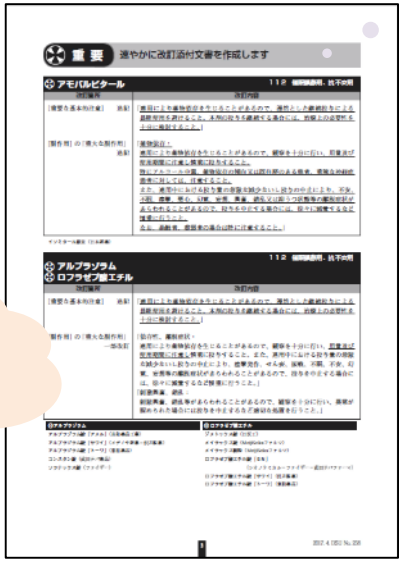
背景情報や
安全対策措置に至った
経緯等を紹介

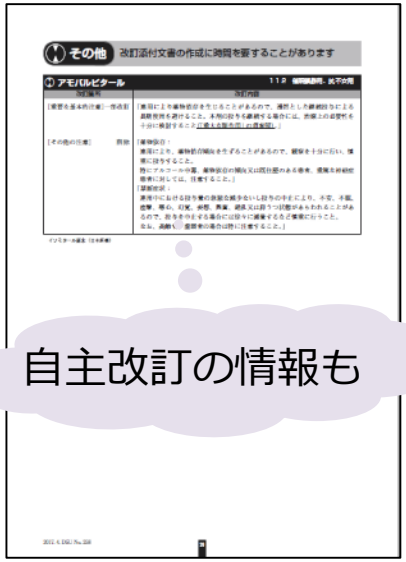
今回の改訂内容





安全対策措置の
根拠となった
症例の概要等を紹介



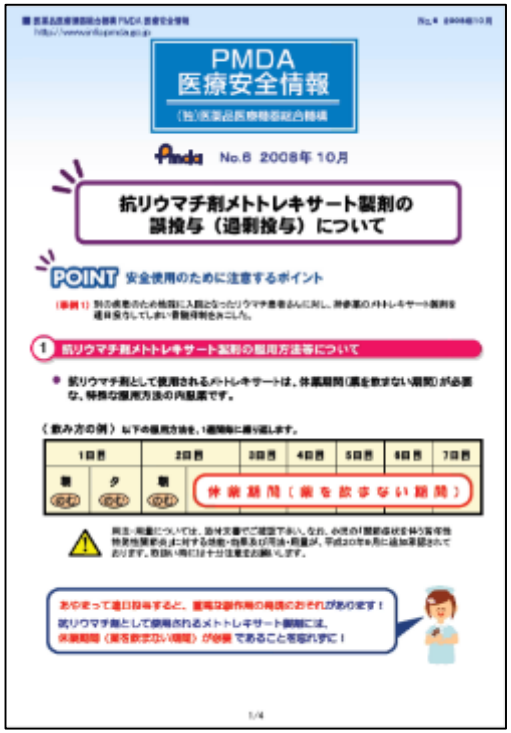


自主改訂の情報も

これらの情報も確認すれば、より詳細な情報が得られます！

これだけは押さえて欲しい情報（PMDA医療安全情報）

同様事例が繰り返し報告されている事例、若しくは添付文書改訂等を通知した事例などについて、医療安全の観点から、わかりやすく解説し、注意喚起



特にメトトレキサートの過剰投与例は、2回お知らせが発出されており、医薬品医療機器等安全性情報でも紹介しています。

どういった事例が起きているのか、どういった対策がされているかを知ることが事例を繰り返さないポイントです

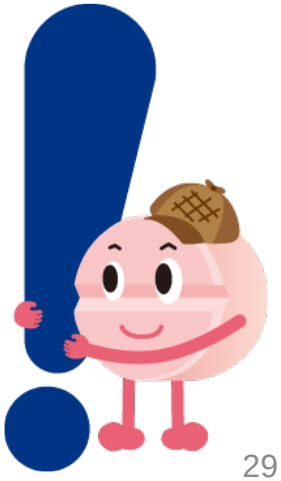
そうはいっても・・・

医薬品の情報ってたくさんあるから
管理が大変・・・

メディナビの
オプション機能

Amda メディナビ
マイ医薬品集作成サービス

を利用してみてはいかがでしょうか？？



本日お話ししたいこと

- なぜ薬剤師は
  情報を収集・活用しなくてはいけないの？
- どの情報だけは押さえておかなくてはいけないの？
- どうやって情報を管理したら良いの？

マイ医薬品集とは？

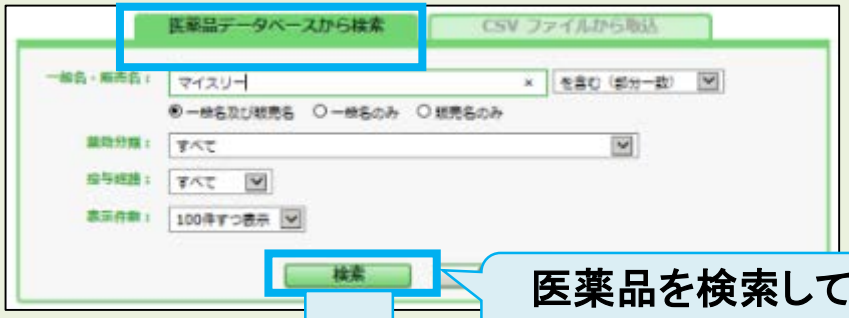
登録手順や使い方の詳細は医薬品医療機器等安全性情報No.346にて紹介しています！

必要な医薬品を登録してオリジナルの医薬品集（マイ医薬品集）を作成することができます

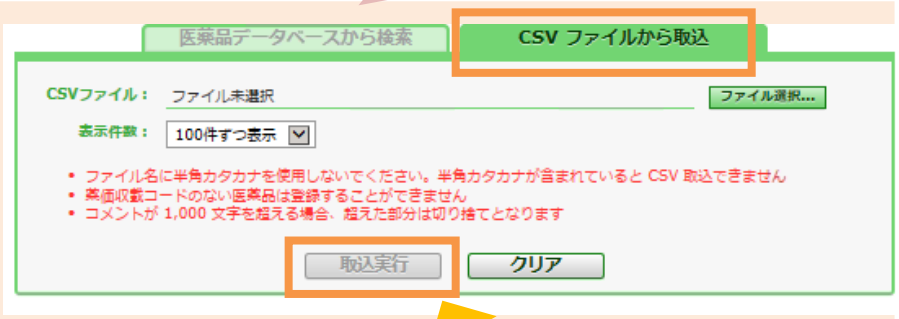
医薬品の登録方法は2種類

登録医薬品の追加

click!



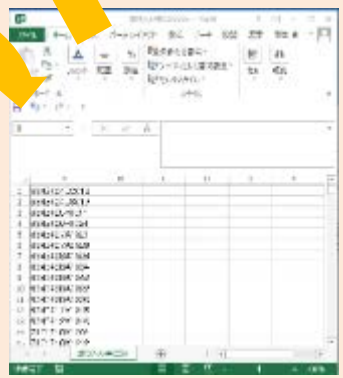
医薬品を検索して登録する



取込む

薬価基準収載コードをCSV出力

レセプトコンピューター



マイ医薬品集の使い方（1）
使用上の注意の改訂指示により添付文書が改訂したとき

3月のベンゾジアゼピン受容体作動薬の適正使用のお知らせ発出時には、同時に「使用上の注意の改訂指示」も発出されていました。

□■ PMDA メディナビ ■□

使用上の注意の改訂指示（医薬品）発出のお知らせ （2017/03/21 配信）

平成 29 年 3 月 21 日指示分
http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/revision-of-precautions/0306.html

（対象医薬品）
1. ラモトリギン
2. 硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸
3. 催眠鎮静薬、抗不安薬及び抗てんかん薬
（対象薬剤は上記リンクをご確認ください）

ベンゾジアゼピン受容体作動薬っていっぱいあるし、まずは自分の薬局で取り扱っている製品の新しい添付文書が見たいなぁ・・・

自薬局で取り扱っているベンゾジアゼピン受容体作動薬だけ登録しておけば、あとはNEWマークに注目すればOK！！

マイ医薬品集の使い方（1）
使用上の注意の改訂指示により添付文書が改訂したとき

改訂指示通知により改訂された添付文書情報については，改訂から1ヶ月未満の場合には，添付文書情報欄に改訂済みアイコン「**NEW!**」が表示されます。

マイ医薬品集の使い方（2）
添付文書のどこが変わったのか知りたいとき

添付文書が改訂されたのはわかったけど、
具体的にどこが変わったのか知りたいなぁ・・・

マイ医薬品集の添付文書の新旧比較を使えば
変更箇所がすぐにわかります！

①登録医薬品の一覧で
「添付文書情報」の〇をクリック

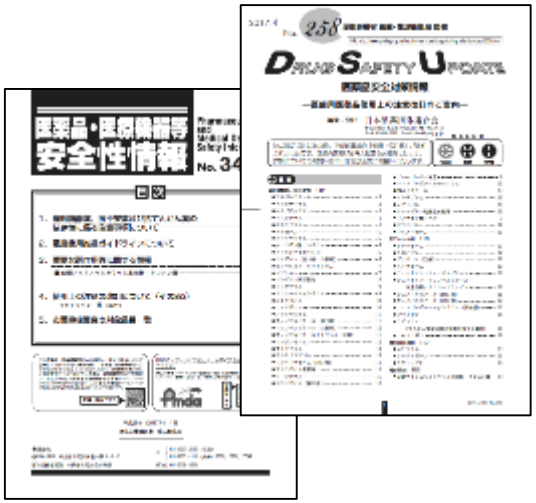
②「旧版と比較する」にチェックをいれると
前の版と比較ができます！

変更・追加・削除のあった項目を明示します

マイ医薬品集の使い方（3）
安全性に関する情報が発出されたとき

医薬品医療機器等安全性情報とかDSUとか色々情報があるけど、自薬局で使っている医薬品に関する情報が出たときにだけ情報がほしいなぁ･･･

メール通知機能を利用しましょう！



登録している医薬品に関する以下の安全性情報が，PMDAホームページに掲載された際に，1日1回，
前日分の掲載情報をまとめてお知らせいたします※

★医薬品リスク管理計画（RMP）
★医薬品に関する評価中のリスク等の情報
★医薬品・医療機器等安全性情報（厚生労働省発行）
★医薬品安全対策情報（DSU）

※PMDAメディナビでこれらの項目を受信している場合は、重複を避けるためメール通知はされないのでご注意ください。

マイ医薬品集の使い方（応用編）
後発医薬品の添付文書改訂について

採用している後発品を登録

↓

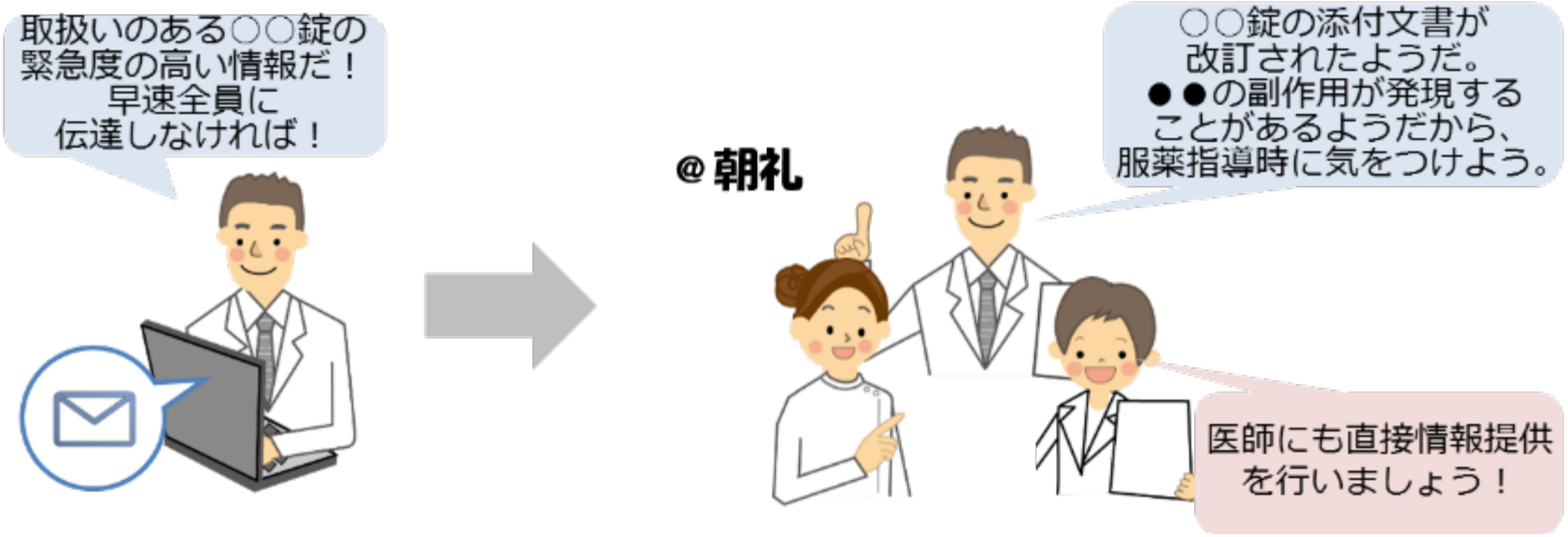
添付文書情報更新メールの通知機能を「受け取る」にする

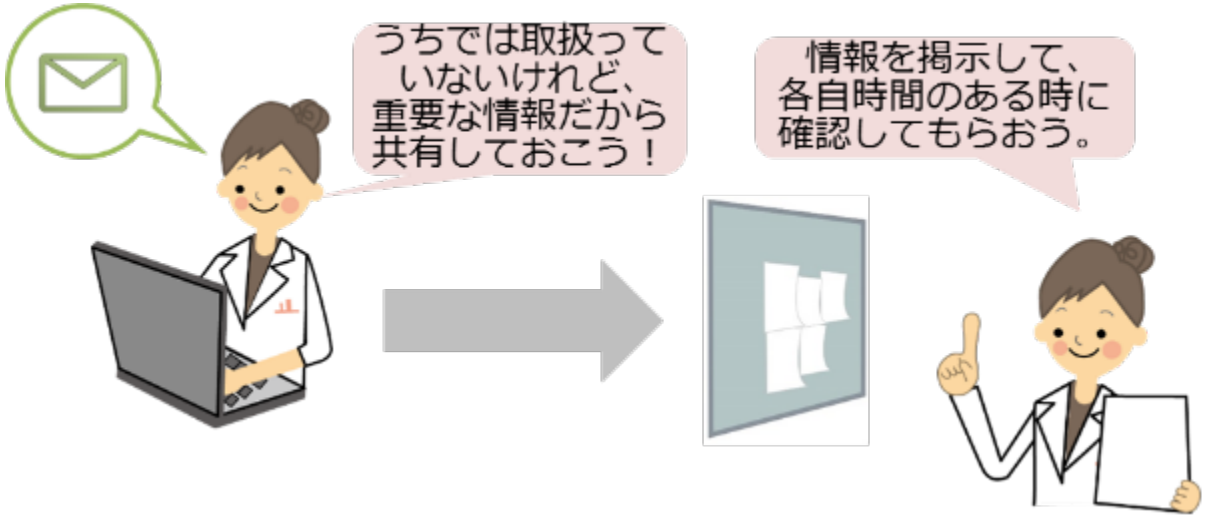
★使用上および取扱い上の注意の改訂

★効能又は効果の追加による添付文書の改訂
★用法用量の追加による添付文書の改訂

情報収集が難しいような内容も
マイ医薬品集を使えば添付文書の改訂情報として
情報収集ができます！

入手した安全性情報の共有





緊急度･重要度に応じて、情報の共有方法を工夫することも重要！

添付文書の記載要領が改訂されます

平成29年6月8日付け薬生発0608第1号
局長通知「医療用医薬品の添付文書等の記載要領について」

本記載要領の要点

（1）「原則禁忌」及び「慎重投与」の廃止、並びに「特定の背景を有する患者に関する注意」の新設等、添付文書等の項目・構造を見直したこと。

（2）項目の通し番号を設定し、「警告」以降の全ての項目に番号を付与し、該当がない場合は欠番とすることにしたこと。

（3）添付文書等に記載されるべき内容について全体的な整理を行ったこと。

適用の範囲

医療用医薬品の添付文書等に適用すること。ただし、体外診断用医薬品、ワクチン、抗毒素又は検査に用いる生物学的製剤についてはこの限りでない。

実施時期

平成31年4月1日から適用する。

添付文書記載要領（比較）

現

- 使用上の注意
  - 警告
  - 禁忌
  - 原則禁忌
  - 慎重投与
  - 重要な基本的注意
  - 相互作用
  - 副作用
  - 高齢者への投与
  - 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
  - 小児等への投与
  - 臨床検査結果に及ぼす影響
  - 過量投与
  - 適用上の注意
  - その他の注意

削除

まとめる

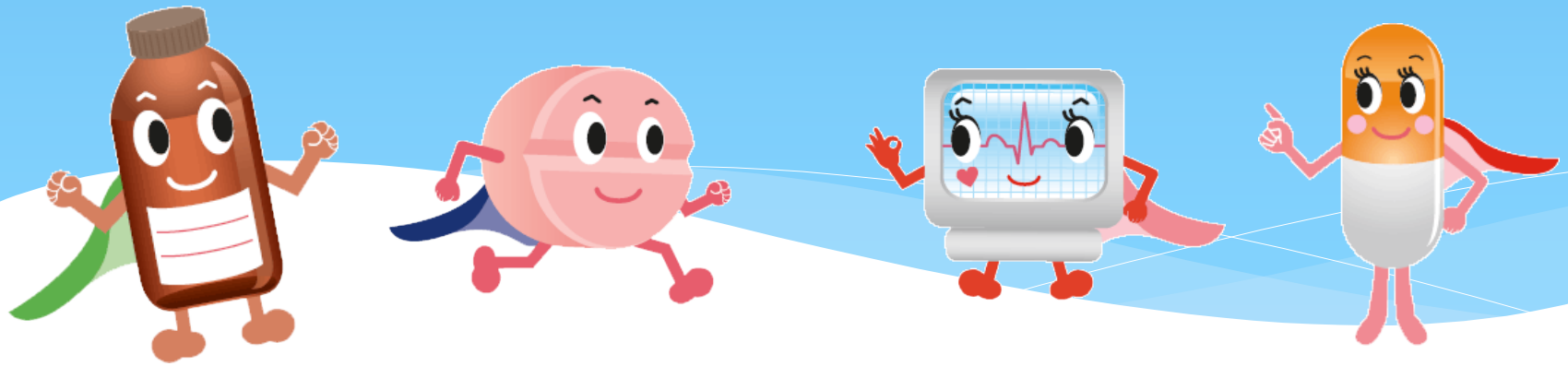
新

1. 警告
2. 禁忌
3. 組成・性状
4. 効能又は効果
5. 効能又は効果に関連する注意
6. 用法及び用量
7. 用法及び用量に関連する注意
8. 重要な基本的注意
9. 特定の背景を有する患者に関する注意
10. 相互作用
11. 副作用
12. 臨床検査結果に及ぼす影響
13. 過量投与
14. 適用上の注意
15. その他の注意

本日お話ししたいこと

- なぜ薬剤師は
  情報を収集・活用しなくてはいけないの？
  - 医薬品医療機器法　第68条の2（情報の提供等）
  - 薬剤師法　第25条の2（情報の提供及び指導）
  - 薬剤師の責務を果たすためには情報収集・活用が大切

- どの情報だけは押さえておかなくてはいけないの？
  - 緊急安全性情報・安全性速報
  - 医薬品の適正使用に関するお知らせ
  - 使用上の注意の改訂指示通知
  - 医薬品・医療機器等安全性情報やDSUで詳細情報を確認

- どうやって情報を管理したら良いの？
  - マイ医薬品集を活用（NEWマーク、添付文書の新旧比較、メール通知）

ご清聴ありがとうございました